

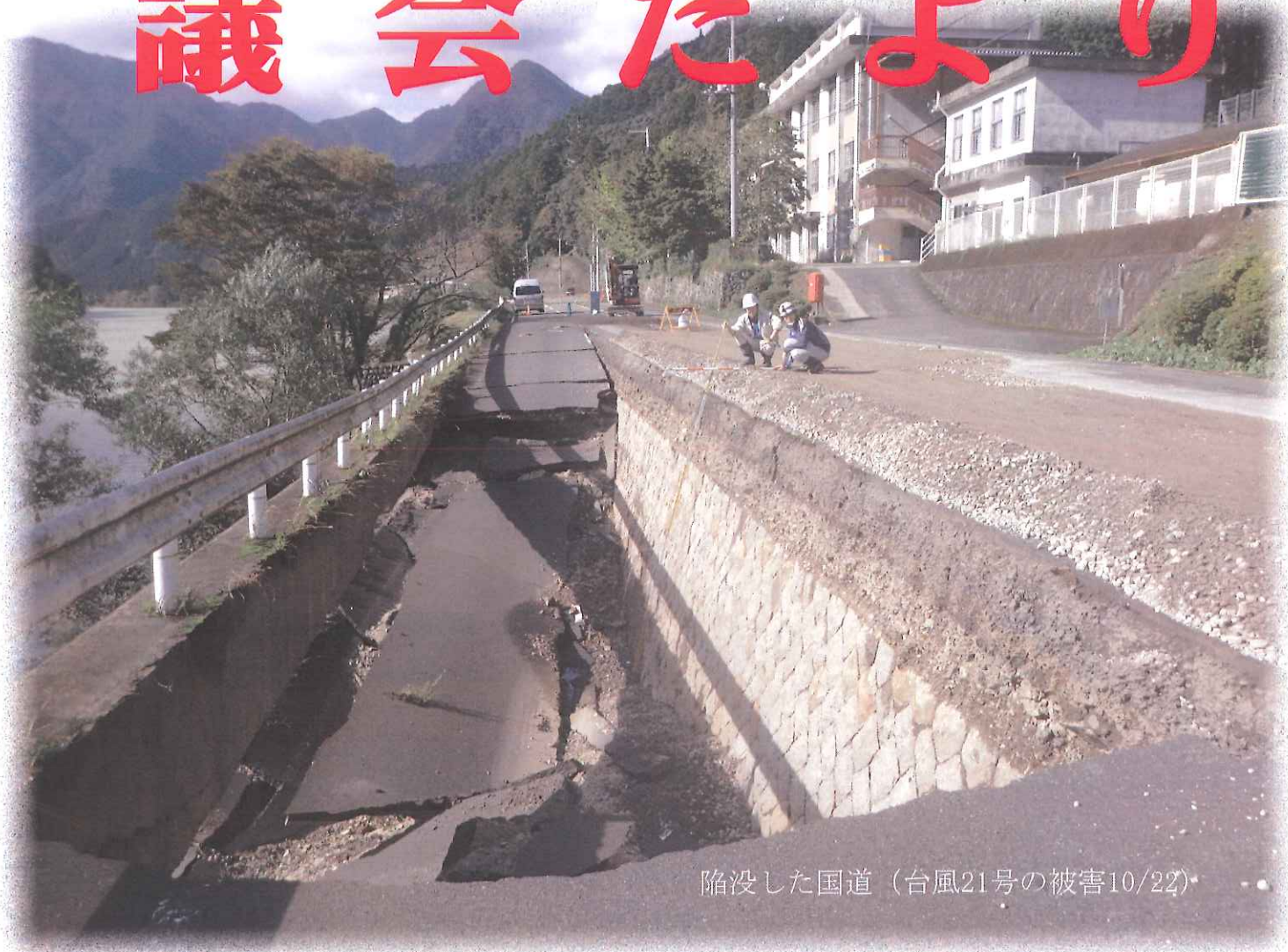
No23 平成29年11月10日



北山村

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207

議会だより



陥没した国道（台風21号の被害10/22）

平成29年北山村議会9月定例会が開催されました

平成29年9月定例会補正予算審議（主な質疑）	P 2
議員が村政を問う（一般質問）	P 3～5
全国森林環境税の創設を陳情・意見書	P 6
村民登場「北山村で子育てを楽しみたい」榎本杏奈	P 7
奥漕道路3期早期完成への陳情 / 編集後記	P 8

平成29年9月定例会 ～補正予算等を審議～

平成29年9月定例会は、9月25日～27日（会期3日間）開催されました。平成28年度一般会計及び各特別会計の決算7件が提出され、慎重審議の結果、どの会計も適正運営がされているものと認定されました。また、平成29年度補正予算等の議案9件や、平成28年度決算に基づく健全化比率など報告2件が上程されそれぞれ可決されました。最終日には議員発議による『「全国森林環境税」の創設に関する意見書』が上程され全員一致で採択されました。

一般会計補正予算・特別会計補正予算
《審議での質疑の内容》

一般会計

【質問】平成28年度決算概要「財産に関する調書」の内訳にパソコン類は全然入っていないのはなぜか？
【答弁】平成28年度決算概要「財産に関する調書」の内訳にパソコン類は全然入っていないのは、パソコンが廃棄処分されたためです。
【質問】パソコンが5台を購入した理由は何ですか？
【答弁】パソコンは、役場には全部あり、各課には必要に応じて購入しています。

簡易水道特別会計

【質問】七色渡の浄水場活性炭ろ過池の仮設工事は土砂を取除く工事であるが、配水池の底にあるグレイ石を取り除いて替えるのか？
【答弁】浄水場の活性炭ろ過池の更新工事は、新築の設備を導入することです。

地域振興特別会計

【質問】観光筏下り業務委託料と温泉の修繕費と維持費は何か？
【答弁】観光筏下り業務委託料は、観光客の安全確保のための費用です。温泉の修繕費は、温泉施設の老朽化対策としての費用です。

用でできる予約管理システムを導入。費用は100万円を計上。温泉施設の修繕費は、温泉の熱交換機、冷泉ポンプ修理など130万円を計上。

【質問】温泉のレスポンスを向上させるには？
【答弁】温泉のレスポンスを向上させるには、温泉施設の設備更新や、温泉の循環システムの改善が必要です。

【質問】温泉のレスポンスを向上させるには？
【答弁】温泉のレスポンスを向上させるには、温泉施設の設備更新や、温泉の循環システムの改善が必要です。

【質問】温泉のレスポンスを向上させるには？
【答弁】温泉のレスポンスを向上させるには、温泉施設の設備更新や、温泉の循環システムの改善が必要です。



高齢者福祉・医療の充実について

久保 隆俊



【質問①】 生活支援ハ
ウスの現状について

【回答】 現在入居は8名、
内訳として80歳代が4名、
90歳代が4名、全て女性
となっている。最高齢は
95歳。介護認定度でみる
と要支援が4名、要介護
1・2がそれぞれ2名ず
つとなっている。

【質問②】 平成27年時点
で介護保険料は4000
円、県平均で6243円
となっている。平成42年
には村で15268円、
県平均で9179円にな
ると推計されている。
1号・2号被保険者と共
に、保険料の高額化が予

【質問】 高齢者の安心を
確保する基盤づくりに向
けて、ニーズに応じた医
療提供体制の整備、心身
の健康作り、障害者が暮
らしやすい村づくりに取
り組んでいただいている。
さらに、子育て世代に対
する手厚い支援も行って
いただいております。幅広い
世代への支援が充実して
いると思う。一方で、高
額療養費制度の上限見直
しなど、利用者の負担が
大きくなる制度改変など
もある。今後の人口推移
などを踏まえ、充実した
高齢者福祉・医療制度を
実現していくために、以
下の点について伺いたい。

想されるが、今後の課題
としてどのように考えて
いるか。

【回答】 現在村の第1号
被保険者は213人、40歳以
上の第2号被保険者は128
人、うち43人は国民健康
保険に加入しており、他
の85人は社会保険等に加
入している。

4400円の介護保険
料は第6期介護保険事業
計画によって定められて
おり、今年度で終了。来
年度からは第7期が始ま
り、今後策定委員会のな
かで保険料が検討される。

【質問③】 今後の介護給付の増加
と2号被保険者の減少を
考慮し試算すると、五千
円台への増加が見込まれ
できる限り第1号被保険
者の方の負担にならない
ような方法を検討してい
きたい。(住民福祉課長)

【質問】 料金設定や定期
的な通院が必要な場合の
負担の増加について対策
を考えているのか。

【回答】 現在登録会員
数は31名、利用状況は7
月から29年3月までで81
人247件、月平均で9人、
27件の実績があった。
利用先は村内が45%、
自宅と診療所の往復など。
熊野市内の医療機関が約
30%、御浜町の紀南病院
が12%、新宮医療センター
は5%、最も遠い場所
で太地町の老人福祉施設の
南紀園の利用があった。

利用料は村内一律300円
で適正かと考えている。
一方で村外の場合は、医
療センターまで助成を利
用しても往復で八千円で、
安価でないことは認識。
今後の利用動向の推移を
観察しながら検討したい。
(住民福祉課長)

先日の敬老会での健康
長寿の方の慶賀の金一封
の贈呈など非常に良かった
と思う。財政面で難し
いと思うが、ふるさと納
税等を活用しつつ、今後
も高齢者福祉・医療のさ
らなる向上に取り組んで
い頂きたい。(久保議員)

公共交通空白地有償
運送の現状について

公共交通空白地有償
運送の現状について



奥漣道路3期工事・学校の災害対策について

前岡 武津雄



学校の災害対策は

【答弁】奥漣道路は1期が昭和56年に事業化、完成が平成20年で工期は28年。2期は平成19年に事業化され、完成が平成27年で工期は8年であった。3期は、事業費のうち国で3分の2を、3分の1を和歌山県が負担しており、それで事業化が早まった。工期の短縮については、国との約束で5年ということではなく、私個人としては5年が希望ということ。また、村長選立候補時の公約として完成まで8年と

【質問】平成28年3月作成のハザードマップでは学校周辺の山が急傾斜危険区域に指定されているが、避難訓練の実施や災害への対応マニュアルは作成しているのか。また、土砂崩れ等により、学校に取り残された子どもたちが発生した場合の備えはどうか。

【答弁】現在、特別警戒区域は体育館の山側の一部、小学校の山側の一部が指定されている。警戒区域は小学校の残り全体と中学校の半分ほどが指定されている。土石流については指定されていない。災害が想定される事態については大雨警報が発令された時点で下校になるので、学校に

取り残される、土砂災害に遭うと言ったことはないと考えている。教員については警報後も待機しているため、2階などの比較的安全な場所にいるか、もしくは早期の非難を考えられている。平成23年の紀伊半島水害をうけ、県の雨量防災情報が非常に充実しており、雨量の予測等システムが構築されている。危険の無いよう早期の非難をできるように対応したい。

(教育長)

【質問】奥漣道路3期の事業化が決定され、計画延長3.4km、うちトンネルが2本、橋が3つ、総事業費が15.5億と公表されている。前奥田村長は工期について遅くて10年、早くて8年で完成するのではと述べていた。紀南河川国道事務所の中村氏も住民説明会で10年計画だと説明していた。ところが先日、敬老会で村長挨拶の時に5年で完成を目指すとして述べていたがその根拠は。

【答弁】現在、特別警戒区域は体育館の山側の一部、小学校の山側の一部が指定されている。警戒区域は小学校の残り全体と中学校の半分ほどが指定されている。土石流については指定されていない。災害が想定される事態については大雨警報が発令された時点で下校になるので、学校に

【質問】平成28年3月作成のハザードマップでは学校周辺の山が急傾斜危険区域に指定されているが、避難訓練の実施や災害への対応マニュアルは作成しているのか。また、土砂崩れ等により、学校に取り残された子どもたちが発生した場合の備えはどうか。

【答弁】現在、特別警戒区域は体育館の山側の一部、小学校の山側の一部が指定されている。警戒区域は小学校の残り全体と中学校の半分ほどが指定されている。土石流については指定されていない。災害が想定される事態については大雨警報が発令された時点で下校になるので、学校に



山村英語留学について

葛城 健也



【答弁】山村英語留学は、良い企画であるが課題がある。

一点目は受け入れ体制。1週間となれば、当然その子どもたちを受け入れる宿泊施設が必要。宿泊料をもらい、個人の家庭で受け入れるのが良い方法であるが、現状では、一般家庭での受け入れが可能な家庭は少ないのではと危惧している。

二点目は、英語指導者の確保が難しいと考える。現状、村では、英語講師（ナイル先生）にお願いしているが、新宮で塾も経営しているので、1週間となれば困難である。

調べたところ、群馬県の高崎市で大規模に取り組んでおり、市で宿泊施設を完備、運営は民間事業者に委託をし様々な期間で実施している。

村でも短期間で実現できれば良いが、受け入れ体制、指導者確保の観点から、慎重に検討すべき事案と考える。

（藪本教育長）

【質問】確かに体制づくりというのは、大変難しい。民宿や旅館などの繁忙時期以外、例えば夏休み前後に民宿へ泊めてやることも良いのでは。

英語指導者も、夏休みの大学生をうまく利用してはどうか。主となる先生は必要であるが、大学生などを補助とすれば、課題もクリアできると思う。何とか実現してほしい。試験的に、北山の生徒を1泊2日の英語サマーキャンプといった感じで一度やってみてはどうか。

また、本年度7億を達成する見込みのふるさと納税の返礼品としても使えばPRになるんじゃないか。よその地域の米だけじゃなくて、北山はこんなことをやっていますよという英語教育を推進する村のアピールにもなるんじゃないか。

【答弁】山村英語留学、私も前から村の英語教育は2年に1回の海外留学だけで、効果が上がっているかどうかと考えていた。先ほど葛城議員から提案のあった英語留学のように、北山村でそのような英語合宿のような形

をとって、英語ばかりではなく、筏下りやラフティングなどの要素を教育を入れた合宿ができれば理想である。

一度、教育長と相談しながら、早急に取り組みたいというふう考えている。
(村長)



「全国森林環境税」の創設に関する意見書・可決

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。このような中、政府・与党は、『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

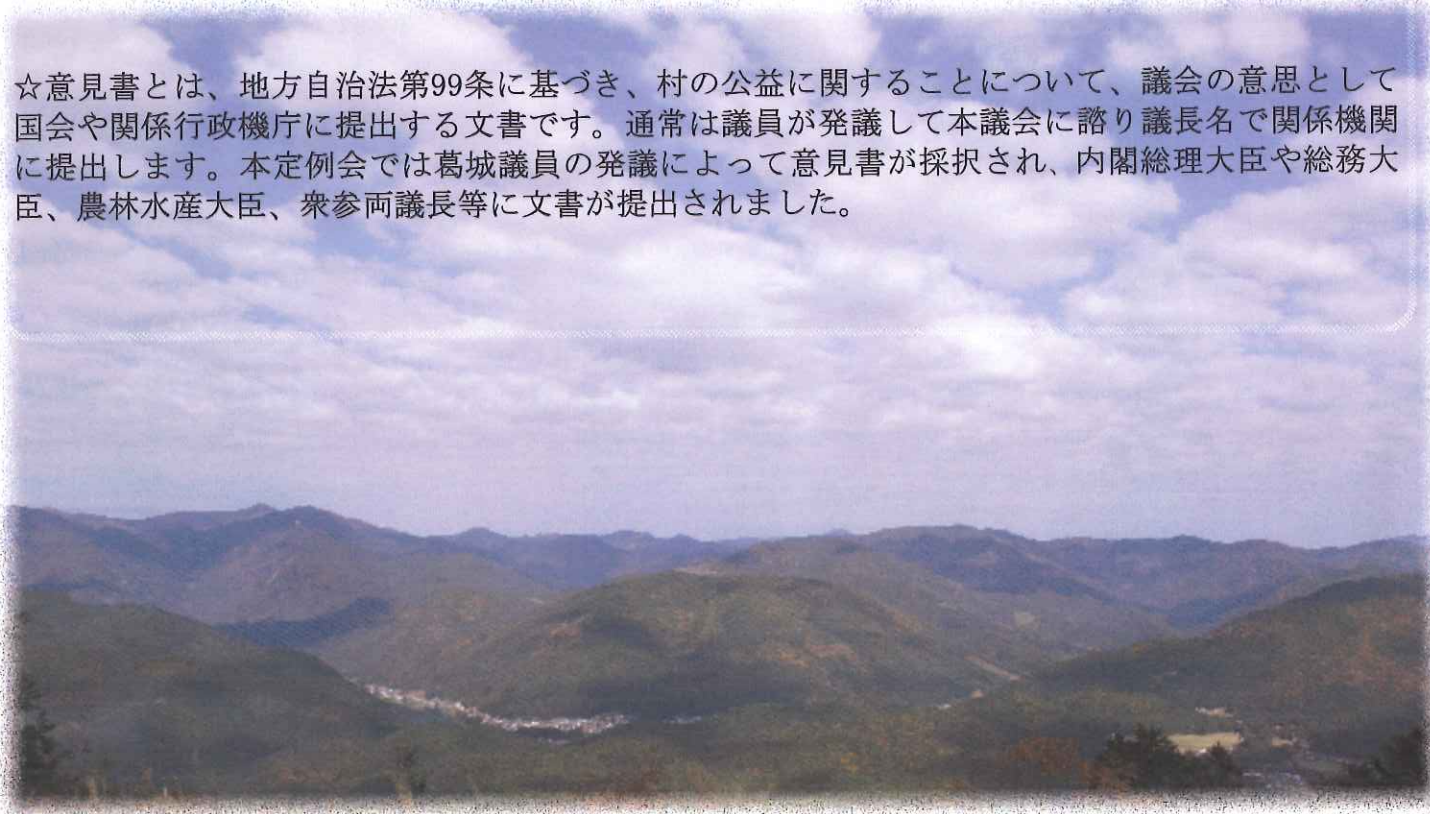
もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

☆意見書とは、地方自治法第99条に基づき、村の公益に関することについて、議会の意思として国会や関係行政機関に提出する文書です。通常は議員が発議して本議会に諮り議長名で関係機関に提出します。本定例会では葛城議員の発議によって意見書が採択され、内閣総理大臣や総務大臣、農林水産大臣、衆参両議長等に文書が提出されました。



北山村で子育てを楽しみたい

榎本 杏奈



こんにちは。子育てに奮闘する日々を送っています。専業主婦の榎本です。私は、一年前よりママカフェという活動をしています。数日前、某議員さんより、ママカフェについて、議会だよりのコラムを書いてほしいと要望を受けての、投稿です。この話があった時、真っ先に思った事は、「いつ書こう・・・」です。私にはもれなく二歳半の息子が四六時中べったりくっついて

います。息子の起きている間に、パソコンを広げると、物珍しさに寄ってきては、きつと素敵にお邪魔してくれます。子供の部屋中は一気に家事を済ませる大チャンスです。そう、文章を書くチャンスは夜中しかありません。「ママカフェ」についての記事なら、夜中であろうと書こうではありませんか！坊や頼むから今日は、夜泣きをするの、勘弁しておくれ・・・と祈りなが

ら、筆を進めてまいりたいと思います。現在、深夜三時、思考回路もすっきりしていませんので、おかしな文章や読み難いところもあるかと思いますが、どうか寛容に読んで頂きたいです。

私が、ママカフェを思いついたいきさつは、昨年八月、地方創生の会議をきっかけに仲良くなったもう一人のママさんとの会話からです。北山村には、低年齢児の保育がありません。したがって、個人的に子供を預けるところがなければ、母親は仕事が続けられませんが、さらに、児童館や図書館などの子供を連れて遊ぶ施設もありません。近所の公園は草が生き生きと生い茂って蚊がたくさん居ます。冬場は、外に出ると、人が居ないなんてこともあります。どうしても社会的に孤立してしまいます。私の場合は、北山村が故郷ですので、話しかけてくださる方

がたくさんいます。ママ友もいます。しかし、若くして、北山村に嫁いできてくれた方は、さぞ心細いのではないのでしょうか。話し相手は、旦那さんだけで、屋間はずっと子供の相手、気晴らしに外に出たいが、小さい子供を連れて車を運転して買い物に行くにはハードルの高い距離・・・そして何かあったらどうしようもない山道・・・自分の時間が無いのにやたら長い一日・・・あ、心が痛みそうです。そういうママさんの気晴らしができる場所を提供したい、ママさん同士が知り合って友達になれる機会を作りたい、子供たちを安全に遊ばせる場所を与えたい、という思いから、週に一回、役場にお願いをして、村民会館を開放してもらい、ママカフェを開催するに至りました。母子が村民会館に集まって、それぞれ持参のお菓子を食べたり、持参のおもちゃで遊ぶだけです。毎回、

平均して五〜六世帯の参加です。この一年間の活動では、通常開催と別に、子供が成長して着られなくなった子供服を提供しあったり、外で花見（弁当も水筒も持参）をしたり、前岡議員に紙芝居の読み聞かせしてもらったり、ファイナンシャルプランナーの方に講習をしてもらったりしました。北山村役場をはじめ、周囲の応援があるおかげで、この一年続けてこられました。この場をお借りして、感謝の気持ちを伝えさせていただきます。そして、これからも、このママカフェが継続していけるよう、ママさん達にも協力賜りたいと思っております。ちなみに、ママカフェという名前ですが、対象は子育て中のママに限っていません。子育てを卒業したママや、イクメンパパ、子供が好きな方、どなたでも気軽に来てください。お待ちしております。

私、三十歳を回っ

てから、愛村心と村の将来を思う気持ちで芽生えてきました。前村長の「子供は村の宝物」という言葉がずっと残っています。子供たちに北山村の良さを伝えたい。そのために、自分のできることは何か・・・まずはわが子に伝えることから始めていきたいと思います。

現在、午前五時。息子はすやすや寝ています。おかげで無事コラムを書き終えました。散文ですが最後まで読んで頂き、ありがとうございます。



奥漕道路3期早期完成への陳情

北山村の各種団体で構成する「おくとろ3期の早期完成を願う有志会」が発足され、10月25日、県内の関係機関（国土交通省 紀南河川国道事務所 和歌山県庁 県土整備部他）へ陳情を行いました。村長、議会も同行し、同会を代表して、福本区長会長のから、奥漕道路3期事業化へのお礼と感謝が述べられ、早期完成への要望書が渡されました。

国土交通省 紀南河川国道事務所の水野所長からは、「今年度の用地買収が順調に進めば、来年度から現道拡幅や仮橋設置などの工事を早急に行いたい。その為にも、用地に取得に係る地権者の協力が必要であり、地元村民の熱心な陳情活動などは大きな力にもなる。第3号橋の歩道計画を含めた小松エリア改良も重視しており、国の予算獲得のためにも、一層、地域の支援協力を頂きたい」との回答があつた。

また、和歌山県土整備部の森戸部長へも同様の要望書が渡され、部長からは、「奥漕道路は地域を支える重要な役割を担っていることは承知している。和歌山県としても引き続き事業を推進していく。トンネル掘削で出る土砂捨て場の確保など、地元との協力をお願いしたい。」とのこと。国等への積極な陳情活動など、村の支援体制の強化を求められました。一行は、下副知事や二階事務所（二階俊樹秘書）を尊敬訪問。同会として今後、積極的な陳情活動を行っていききたい。



有志会の皆様

- ・ 区長会（会長 福本糧二）
- ・ 観光協会（会長 葛城健也）
- ・ 商工会（会長 大和田隆栄）
- ・ 森林組合（組合長 久保治）
- ・ 交通安全協会（会長 東幸則）
- ・ 建設業組合（会長 下山和郎）



編集後記

寒い季節が訪れますが、皆様お元気で暮しの事と思います

衆議院選挙も終わり、国では消費税引上げ等の問題が今後の最大の争点となります。国民の平均寿命が100歳に近づく中で、超高齢化社会への対応は大きな課題です。これから先、医療費や年金、生活保護費など高齢者を支える制度はどうなっていくのでしょうか、大変心配されます。

北山村でも将来的には、個人の医療費や介護保険など保険料負担の増加が心配されます。少しでも公費負担で弱者のための軽減策など考えなければならぬように思います。そのためにも、議員は日頃から行政の無駄をチェックし改善していく努力が求められます。

さて、表紙の写真は、先の台風21号の洪水により被災した道路です。深夜に現場職員数人が亀裂が入った道路を点検中に突然道路が陥没したそうです。もう少しで人災で、早く発見しなければ一般車両が巻き込まれるなど大事故になった可能性があります。日頃から道路の点検も必要ですが、何らかの予兆があつた時は皆さんの情報提供をお願いいたします。

全国の限界集落の中には、北山村も当然入りますが、執行部共々、村民の安心安全を守り北山村の存続に向けて、色々な課題をクリアして行きましょう。

久保学